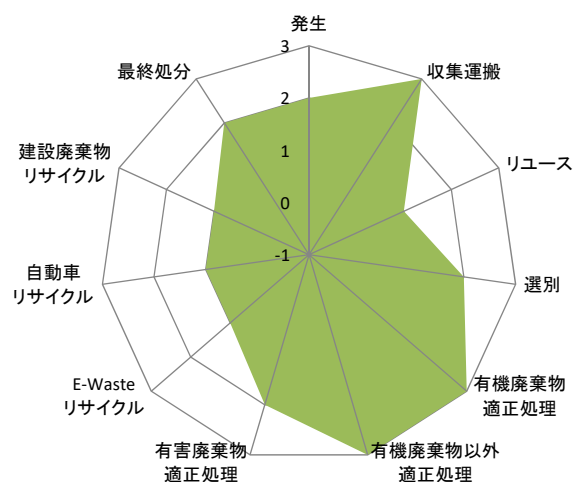


持続可能な都市づくりに向けたガイドブック＜資源循環編＞

- 急激な都市化によって顕在化する様々な課題を解決し、持続可能な都市づくりを実現するため、資源循環分野において、都市の情報・データを活用して現状評価を行うための指標を作成。モデル都市（北九州、ベトナム・ダナン、シンガポール、インドネシア・バタム）に試行的に適用。
- 具体的には、新興国が適切な廃棄物処理・資源循環の整備等を行う際に、①現状評価、②ソリューションの検討、③ソリューションの提案を行うことが可能。
- 横断的事項（法制度等）、都市ゴミ、有害廃棄物の処理、E-WASTE、自動車、建設廃棄物を評価軸に設定。水・大気・土壌・エネルギー分野の中の資源循環に関連する項目についても診断が可能。

【①現状評価】

・資源循環分野の現状を評価し、改善点を把握



【②ソリューションの検討】

・課題解決に向けたソリューションを提示
・ソリューションとしては「法制度」と「技術・システム」を提示

技術・システム
+
法制度

施策導入を背景とし、技術・システムが円滑に機能し、効果を発揮。

【③ソリューションの提案】

[例示]

- ・インフォーマルセクターのフォーマル化
- ・適切な廃棄物回収ルート確立
- ・廃棄物の処理・リサイクル技術の向上
- ・リサイクルの推進による低炭素化
- ・再生資源供給による省資源・低炭素化

新興国の
環境負荷の低減

適正かつ安定した
資源循環の構築

更に今後、以下の方向でガイドブックの活用を検討中。

- 政策対話等において、都市における資源循環分野の課題を共有するために指標を活用
- 指標の活用・普及のための能力構築の実施